

業 務 の 名 称	バスターミナルを中心としたレジリエントなスマートシティ拠点の機能評価の研究開発
業 務 概 要	本研究では、集約型の公共交通ターミナル「バスタ」を対象に、平常時の運用と災害時の運用の両面から、単に交通結節点機能のみならず、交通を基軸に地域の活力を高め、災害に強いスマートシティ拠点を形成するための機能の計測・評価手法の開発と、それに基づく「バスタ」に対する要求機能について明らかにする。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 奥村 康博 茨城県つくば市旭1番地
契 約 年 月 日	令和4年7月21日
契 約 業 者 名	国立大学法人広島大学
契 約 業 者 の 住 所	広島県東広島市鏡山一丁目3番2号
契 約 金 額 (税 込 み)	¥47,993,000
予 定 価 格 (税 込 み)	¥47,993,000-
随意契約によることとした理由	本委託研究については、国土交通省道路局により設置された学識経験者等からなる新道路技術会議において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準に基づき審査された結果、令和2年3月、本研究課題及び委託先が選定されたものであり、令和3年3月、令和4年3月に同会議で中間評価を行い、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、本委託研究の評価結果等については、国土交通省道路局のホームページ等で詳細に公表されている。 以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記委託先と随意契約するものである。
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間 (自)	令和4年7月22日
履 行 期 間 (至)	令和5年3月17日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数	-
備 考	